

第六十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第六號

昭和八年三月十八日(土曜日) 午前十時
九分開會

○委員長(伯爵溝口直高君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開會イタシマス

○男爵淺田良逸君 昨日ノ質問ニ關聯シタ事項ヲ具體的ノ數字ニ關スル御質問ヲ致シタイト思ヒマス、第一ハ特殊扶助料ノ増額ニ於キマシテ、假ニ十年間各扶助料ノ十分ノ五ヲ加給スルトシタ場合ニ、ドノ位金額ガ殖エル見込デアルカ、五年間各扶助料ノ十分ノ三ヲ加給スト云フノヲ、十年間各扶助料ノ十分ノ五ヲ加給スト假定イタシマシタ場合ノ金ガ幾何ニナルカト云フ點、其次ハ受給者ノ年齡ニ依ル停止ニ於キマシテ、此條項ヲ全部削ルトセバドノ位ノ金ニ影響ガアルカ、又三十五歳未満ト四十歳未満トニ別ケテ、下士以下ノ軍人幾何、警察官監獄看守幾何、文官等幾何ナリヤノ其計算、第三問題、所謂第一款症第二款症ヲ客申ノ如ク繰上ゲ、増加恩給ヲ支給スルモノト致シ、之ニ相當ナル金額ヲ割當テル、相當ト云フノハ第六項症ノ次ニ第七項症、第八項症ト云フ工合ニナリタ場合ニ於テ概ネ是ナラバ適當ナル差額デアルト云フ假定額ヲ

定メ、ソレヲ標準トシ、新ニ制定セラルベキ傷病年金ト對照シテ見テ、金額ニ於テ幾何ノ差ヲ生ズルヤノ數字、ソレダケヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(樺貝詮三君) 只今ノ御尋ノ第一ノ、特殊扶助料ニ付キマシテ、十年間半額ヲ増スト云フ案ニシタラバドレダケ餘分ニ掛カルカト云フ御尋ニ付テ御答ヘ致シマシガ、ソレハ金額ニ致シマシテ五十八萬七千圓ト云フコトニナリマス、デ原案ニ對シマシテ三十二萬圓ノ増加ト相成リマス、ソレカラ第二ノ、年齡ノ若イ人ミノ其恩給ノ停止ノ金額ノ豫定ハ、是ハ當分ノ間ハ非常ニ少ウゴザイマシテ、十年位マデハ二萬圓カラ八萬圓位マデ國費ノ分ト致シマシテ停止スルコトニナリマスガ、最モ多ク停止サレルヤウニナリマシテ十四五年ノ後ニナリマシテ……十四年ノ後ニナリマシテハ七十五萬圓位ニナリマス、是ハ國費ノ分ダケデゴザイマシテ、昨日男爵カラ御話モアリマシタ點デゴザイマスガ、軍人バカリデハゴザイマセズデ、此恩給法改正ノ結果、地方ノ恩給デアル所ノ巡查ノ恩給力ガ大分停止サレルコトニナリマス、此巡查ハ昨日モ

チヨット御話ガアリマシテゴザイマスガ、所謂軍人上リデ巡查ニナリ手ガ非常ニ近頃ハ多ウゴザイマシテ、從テ巡查トシテ恩給ハ貰フコトニハナルケレドモ、軍人トシテ恩給ニナラナイ程度ノ人ガ、新恩給法ノ上ニ於テハ通算ヲサレテ、從テ兵トシテ義務役ヲヤリマシタノガ、皆今日ノ恩給法カラ申セバ生キテ行ク形ニナリマシテ、巡查恩給ニ大分ナテ參リマス、是ハ餘程適用サレル餘地ガアリマス、是ハ今ノ數字ノ上ニハ現ハレテ居リマセヌ、ソレニ年齡別デ幾ラニナルト云フノデゴザイマスガ、國費ノ分デ昭和六年ニ新シク裁定サレタモノニ付テ、四十歳未満者ノ人員ニ付テ停止ノ金額ヲ申シマスルト、文官ニ於テ九萬一千圓、ソレカラ陸軍軍人ノ下士以上ノモノニ付テ十九萬五千圓、ソレカラ准士官以下ニ於テ五十四萬二千圓、ソレカラ海軍軍人ニ於テ士官以上ガ一萬一千圓、ソレカラ准士官以下ニ於テ九十九萬四千圓ト云フヤウナモノガ是ハズト先キヘ行キマシテ……ソレカラ尙此外ニ教職員、是ハ主ニ中等以上ノ學校デゴザイマスガ、加算ナドヲ貰テ來ルヤウナ人ガ這入ルノデアリマス、ソレ

ガ十萬一千圓、警察、監獄職員ガ四萬圓、外ニ地方待遇職員ガゴザイマスガ、是ハ極ク少々デ、併シ先程申上ゲマシタヤウニズツト先キヘ參リマシテ一杯ニナツタ時ノコトヲ豫想シテ斯ウ云フコトニナリマスノデ、是ハ現在職者及現受恩給者ニ付テハ適用イタシマセヌ結果、當分ノ間ハ幾ラモ出テ參リマセヌ、併シ幾ラカ出テ參ルト申シマスノハ通算關係ガアリマシテ、是カラ新ニ就職ヲ致シマシテ、即チ二度ノ勤メ……外ノ職務ヲ執ツテ居リマシテ二度ノ勤メヲ致シテ、ソレカラ罷メラレルコトニナル、ソコデ停止サレルモノヲ加ヘマスカラ、暫クノ間ト雖モ幾ラカヅツ生ジテ參リマスケレドモ、併シ一杯ニナリマスノハ先程申シマシタ十四五年ノ後ニナラヌト、此分ハ一杯ニナツテ參ラスト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ第三ノ第一款症ト第二款症ヲ増加恩給トシテ之ニ相當ノ増加恩給及普通恩給ヲ給シ、且ツ扶助料ニ殘ルモノトシテ幾ラニナルカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ金額ニ致シテ即チ一款、二款ニ該當イタシマスルモノヲ七項八項ト云フ増加恩給ニ對シテ之ニ普通恩給ヲ給スルト云フコトニ致シ

マスルト、固ヨリ將來生ズル部分ニ付テハ全ク推定ヲ加ヘル外ハアリマセヌガ、過去ノモノニ付テハ、是ハ具體的ニ數字ガ明瞭ニナリマスガ、其兩者ヲ考ヘ合セマシテ、總計デ百八十四萬五千圓ト云フモノガ考ヘラレマス……チヨット取消シマス、只今將來ノ分ヲ考慮ニ入レテト申シマシタガ、過去ノ分ダケヲ考ヘマシテ百八十四萬五千圓、ソレカラ現在アルノト比較イタシマシテ増加額ガ七十六萬六千圓ニ相成リマス

○男爵淺田良逸君 正確ヲ期スル爲ニ念ヲ入レテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一ノ特殊扶助料増額ノ場合、是ハ今回ノ規定通りニスルト五十八萬七千圓デアルガ、只今私カラ申シテ假定數字ニ依ルト三十二萬圓殖エルト云フ御話デアリマスガ、二倍ヨリモ大分餘計ニ殖エル、詰リ五十八萬七千圓ノ半分二十九萬八千五百圓デアルガ、サウデナク三十二萬圓増加ニナルト云フノハ、ソレハドウ云フ譯デゴザイマスカチヨット其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(補員詮三君) 此十年間ニヤリマスルト、實ハ廻及ノ仕方ガ五年ダケ餘分ニ廻及イタシマス、其結果過去ノ人ガ一溜リニ受ケルト云フ關係ガ生ジマスカラ、從テ受ケル人ノ數ガ殖エル、ソレデ斯ウ云フ

數字ニ、具體的ニ計算シテ見マストナリマス、是ガ三年トナリ二年トナレバ、非常ニ金額ガ減テ參リマスガ、滿洲事件ノ最初ノ方ノモノハ無クナツテ仕舞フ、這入ラナイト云フコトニナリマス、サウ云フ關係デ十年五割ト云フコトト、ソレカラ五年三割ト云フコトト、其割合ダケヨリカモズット金額ハ殖エテ參ル

○男爵淺田良逸君 次ノ問題、三十歳四十年ノ年齢云々ヲ削除スレバ、是カラ十ヶ年間ノ間トシテハタツタ二萬圓乃至八萬圓ノ國費ニ影響スルダケダト承リ、次ニ十四五年ト云フタツタ四五年、ソレカラ經テ六七十五萬圓ト云フ國費ニナル、ソレカラ更ニ進ンデハゴザイマセウガ、陸軍ハ五十四萬二千圓、海軍ノ下級軍人ガ九十九萬四千圓ト云テ、數字ヲ細カク上ゲマシタ合計ガ、私ノ概算デハ二百萬圓弱トナリマスガ、ソレハサウスルト何年後ノコトデアリマセウカ、中間ノハ十四五年後ト仰シヤツタガ、最後ノハ其年數ニ付テ御話ガアリマセヌデシタ、ソレヲチヨット御尋ネ致シマス

○政府委員(補員詮三君) 只今ノハ十七年ヨリモ後ノ合計ニナリマシテ、ソレハ累積シテ申シマシタ數ノ計算ニナリマス、十七年後迄ニ累積シタ國費ノ分ノ合計ガサウナ

ルト云フコトニナルノデアリマス

○男爵淺田良逸君 尙ホ是等ノコトハ後デ物ヲ言フコトニナリマスノデ、一ツ表ニシテ頂戴ヲ願ヒタイノデアリマス、而シテ只今承ルト云フト、警察官下級軍人等ヲ除クト云フト、後ノハ合計シテ、十七ヶ年ヲ合計シテ十七萬圓ニモナラヌ位ダカラ、軍人トソレカラ警察官等ヲ除クト、一年一萬圓位ノ計算ナル譯デゴザイマスネ、サウ考ヘテ宜シウゴザイマセウカ

○政府委員(補員詮三君) 今ノ數字ハチヨット咄嗟ノ間ノ何デゴザイマスカラ、計算シテ見ナケレバ正確ナコトハ申上ゲラレマセヌ

○男爵淺田良逸君 サウスルト第二ハ表デ御願スルコトニ致シマス、第三ノ此額ガ第七項症第八項症ト線上ゲタ場合ニ於テ百八十四萬五千圓ト云フ御話デアリマシタガ、之ノ基礎トナルベキ増加恩給ノ額ヲドウ云フ工合ニ算定シテハ計算デゴザイマセウカ、又若モ此算當デナク、假ニ金ガナイカラシテ詰メ得ル程度マデ詰メタトシタ色ミノ御算當ガアリマシタソレヲ承リタイノデ、只今御即答デアリマセヌデモ、表ニシテ所載シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(補員詮三君) 此分ハ増加恩給

ガ各段階ニナリマシテ、大體一項ヲ落チマスト前ノ項ノ八掛ケニナツテ居リマス、更ニ第一款第二款ヲ七項八項ト致シマシテ、ソレニ第一款症ニ該當スル即チ七項トシテノ金額ガ六項ノ八割ヲ、ソレカラ第二款症即チ第八項トスベキモノニ付テハ更ニ其八割ト云フ計算ニ致シマシテ、斯ウ云フコトニナリマスノデス、普通恩給ハ増加恩給者ニ給スルモノト同ジモノヲヤルト致シマシテ之ニナリマス、唯之ニ致シマスト八項ノ金額、増加恩給金額ト云フモノハ非常ニ低イコトニナリマス

○男爵淺田良逸君 質問ハ終リマシタ

○男爵井上清純君 專ラ海軍ノコトニ付テノ質問デアリマスガ、先達テ私ハ國庫納金ニ付テ御質問イタシタ所ガ、ドウモ要領ヲ得ナカッタノデアリマス、ソコデ海軍省ニ付キマシテ調べマシタ所ガ、海軍カラノ本年度ノ納金ハ其儘今度ノ追加豫算ニ計上セラレテ居ルコトヲ發見シタノデアリマス、然ラバ本年度ノ武官ノ納金ハ海軍ダケノ納金ノヤウニ見エルノデアリマスガ、即チ本年ノ十二月一日ニ進級イタシマスル海軍武官ノ一月、二月、三月、此三月分ノ納金ヲ計算サレテ居ルヤウデアリマス、同ジ武官デアリナガラ、年度ニ依ツテ分クナイデ、

改正恩給法ノ其實施期ガ偶、十月一日ニ
ナッテ居ル爲ニ、非常ニ不公平ナ状態ニナ
テ居ルト思ヒマスガ、斯ウ云フコトハ矢張
リ年度ニ於テ兩方トモ公平ニサレナケレバ
ナラヌコトダラウト思フ、殊ニ此十二月一
日ノ海軍ノ進級ハ專ラ下士官以下ノ人ガ多
イノデアリマシテ、人數トシタナラバ下士
以下ノ方ガズト多イダラウト思ヒマス、
斯ウ云フ改正ノコトニ付テハ能ク注意サレ
ナケレバナラヌコトダラウト思ヒマス、更
ニ三等下士ノ恩給ガ自然的急減スルト云フ
ノハドウ云フ譯デアリマスカ、其ニツノ點
ヲ先ヅ聽キタイ

○政府委員(補員詮三君) 今ノ國庫納金ヲ
セシムル所ノ時期デゴザイマスガ、是ハ申
ス迄モナク一年内ニ於ケル或ル時期ヲ取
テ恩給法ヲ施行スルヨリ外仕方ガアリマセ
ヌノデ、十月一日ヲ取リマシタノハ、大正
十二年ノ恩給法ノ改正ガ十月一日カラ改正
法ガ施行サレマシテ、本年ノ十月一日ニナ
リマスト滿十年ニナリマスノデ、色ミナ在
職年計算其他諸般ノコトニ互リマシテ、此
十二年、今迄ノ間ニ十年經過シテ居、タト
云フコトニ致シマスノガ、非常ニ將來ズ
ト便利ナ點ガアリマスノデ、十月一日ト云
フモノヲ選ンダ譯デゴザイマスガ、其時期

ガ今仰シヤルヤウニ海軍ノ方ノ軍人ノ納金
ニ割合ニ大キイ影響ヲ及ボスカモ知レマセ
ヌケレドモ、陸軍ノ進級モ矢張り十月頃ト
考ヘテ居リマスルシ、或ハ其直後ニ參ルダ
ラウト思ヒマス、ソレカラ文官其他巡查、
看守等ニ於キマシテモ、下級ノ人達ニ於キ
マシテハ、十二月、六月ニ昇給スルノガ非
常ニ多ウゴザイマス、殊ニ十二月年末賞與
ノ濟ンダ後ニ進ムノガ、實際問題トシテハ
非常ニ多ウゴザイマスカラ、サウ云フ點ヲ
考ヘテ見マス、固ヨリ文官ノ高等官等ニ
於キマシテハ、別ニ時期ナシニ絶エズ昇給
モ致シテ居リマスガ、バラ／＼ニナッテ居
リマスガ、ソレデモ尙十二月アタリノ昇給
ハ何トシテモ多ウゴザイマスコトハ、官報
ニ當時ノ辭令ガ出テ居ルノヲ御覽下サッテ
モ分ルノデアリマス、サウ云フ譯デ特ニ海
軍ノ方ニ辛ク當ルト云フ結果ハ、サウ
生ジテハ來ナイト思フテ居リマスガ、比較
的或ハ海軍ニ多イカモ知レマセヌケレド
モ、サウ云フヤウナ譯デ、外ノ方デモ割合
ニ此時期ハ昇給ノ時期ニナッテ居リマス、
ソレカラ第二ノ三等下士官ノ普通恩給ガ急
角度ヲ以テ近頃減ルト云フコトニ付テ、
御尋ガゴザイマシタガ、ソレハ實ハ海軍ノ
方カラ御答ヘ願フ方ガ一層明瞭ト思ヒマス

ガ、大體ノコトヲ申上ゲマスレバ、大正十
二年ニ現行恩給法ガ改正サレマシテ、所謂
加算減ノ整理ガ非常ニ多ク行ハレル、從來
一時チヨット國外ニ出マシテモ、ソレニ對シ
テ一年ノ加算ヲスルト云フヤウナモノガ改
マリマシテ、同ジ加算スルニ付テモ、一月
ニ付テ何ヶ月ト云フヤウナ單位ニナリマシ
タ爲ニ、言換ヘレバ加算ガ合理化サレマシ
タ爲ニ、其加算ガ非常ニ膨脹スルト云フコ
トガ無クナリマシテ、ソコデ三等下士ダケ
トシテハ恩給ニナラナイト云フノガ澤山ニ
出テ參ルコトニナリマス、丁度大正十二年
ノ恩給法改正ガ行ハレルアタリニ、ソレラ
ノ點ニ付テ働キ出シタト云フ結果ニナリ
ス、ソレデ急角度ニ減ッテ居リマス、其點ノ
詳細ニ付キマシテハ、海軍ノ方カラ申上ゲ
ルコトニ致シマス

リマシタ五年ニ致シマシテモ、其後本人ノ
希望ニ依リマシテ、定員ノ許ス範圍ニ於キ
マシテ、二年間毎ノ再現役ガ許可サレルノ
デゴザイマスカラ、五年六年以上ニ現役ニ
服スルコトガ出來ルノデゴザイマスケレド
モ、二年々々ト再服役ヲ致シマシタ所ガ、
矢張り其一年短縮シマシタ一年ガ影響シテ
居ルノデアリマス、ソレカラ極ク細カイヤ
ウデアリマシテ、實際問題ト致シマシテ非
常ニ影響ノアリマスノハ、震災加算デアリ
マス、丁度現行恩給法ノ施行サレマス直グ
前ノ九月、アノ九月一日ガ舊法ニ依リマス
恩給加算ガ附イタノデアリマシテ、當時御
承知ノ通り全海軍ヲ擧ゲテ此救護ニ從事イ
タシマシタ關係上、海軍ノ艦船乗務員殆ド
全部ガ東京灣ニ集中イタシマシタ、一年ノ
加算ヲ有ッテ居、タノデアリマス、ソレラノ
加算ヲ有ッテ居リマシタノガ、今日其三等下
士官トシテ退役スルモノノ中ニハ含マレテ
居ラナイト云フ關係ニナッテ來タノデアリ
マス

○説明員(多田武雄君) 海軍ノ三等下士官
ノ受恩給者ガ急激ニ減少シツツアルト云フ原
因ニ付テ申上ゲマス、只今恩給局長カラ申
述ベラレマシタ大正十二年ノ改正ニ依リマ
ス現行恩給法ノ適用ノミヲ受クルヤウニナ
リマシタノガ一ツ、ソレカラ昭和二年兵役
法改正ニ依リマシテ、海軍志願兵ノ固有服
役年限ガ從來ソレ迄六年デアリマシタノガ
五年ニナッタ、勿論六年ニシテモ、又改マ

○男爵井上清純君 恩給局長ガ今國庫納金
ハ今年度ニ於テモ陸軍ハ含ンデ居ルト言ハ
レマシタケレドモ、ソレハモウ少シ追加豫
算ヲ御覽ニナラナケレバイケナイト思ヒマ
ス、追加豫算ニハ海軍カラノ報告其儘ノ數

字が出テ居ルノデアリマシテ、一厘一毛ト雖モ外ノモノハ含シテ居リマセヌカラ、一人モ陸軍ノ方ノ進級ハナイト見ナケレバナラスノデアリマス、悉ク八月ノ定時進級ヲサセラレテシマツテ、十月以後ニ於テハ一人ノ進級モ本年度ニハ計上サレテ居ラナイノデアリマス、其コトヲ私ハ正確ニ確メタノデアリマスカラ、今ノ恩給局長ノ言ハレルコトハ間違テ居ルモノダト私ハ考ヘマス、ソレカラ第二三等下士ノ恩給ノ自然的急減デアリマスガ、是ガ前ノ恩給法ガ非常ニ下士官以下ニ對シテ、ツラクナツテ居ル證據ガ漸次現ハレテ來テ居ルノデアリマス、其上ニ今度ノ改正ガ漸次ニ又其上ニ深刻ニ影響スルモノダト思ヒマスルガ、此陸軍ニ於テハ……海軍カラハ海軍特務士官、進士官、下士官普通恩給新受給狀態ト云フ表ガ配ラレテ居リマスルガ、陸軍ノ方カラハ斯ウ云フ表ハ作ラレナイノデアリマス、此表ニ依リマスルト、一等下士官ガ一番多數ノデアリマス、毎年新受給者ノ中デ一等下士官ガ一番多イノデアリマス、格段ニ多イ、殆ド三千人ノ中ノ二千八人ト云フモノガ、一等下士官デ恩給ヲ戴クモノガ毎年々々出テ出來ルノデアリマス、二等下士官、三等下士官ニ於キマスルト、是ハ殆ド急激ニ減ッ

テ居ル、二等下士官ハ五十六名、三等下士官ハ六百八十一名デアリマス、ソレデモウ今後ハ、恩給ヲ戴カナカタナラバ海軍下士官ニナル希望ハ持チ得ナイノデアリマスカラ、悉ク是ハ一等下士官ニナツテ恩給ヲ戴イテサウシテ退役スルト云フコトニナルト思ヒマスガ、併ナガラ總テヲ一等下士官ニスルト云フコトハ、定員デ以テ許サレナイノデアリマスカラ、多分ノモノハモウ下士官ニ進級スルコトヲ欲シナイコトニナリハシナイカト思ヒマス、然ルニ此下士官ト兵トノ比較ヲ見マスルト、海軍ノ機械ガ非常ニ進歩シタ爲ニ、兵隊ヲ訓練スルノニ長年月ヲ要スルノデアリマス、從テ下士官ガ兵ニ比シテ非常ニ多數ニ上ボツテ居ルト思ヒマス、確カ水兵四人ニ對シテ下士官一人ト云フヤウナ割合ニ殖エテ居ルト思ヒマス、殆ド海軍ノ兵ト云フモノハ、下士官ガ五分ノ一デ、マルデ陸軍ト比較シテハ、殆ド比較スルコトノ出來ナイヤウナ多數ノ下士官ガ居ル譯デアリマス、其下士官ノ大部分ハ恩給ヲ戴クコトガ出來ナイコトニナルノデアリマス、デ戴クトスルナラバ、悉ク一等下士官ニシナケレバナラス、一等下士官ニスルト云フコトハ、定員上デ以テ許サレスカラ、マア三等下士官デ以テ止メナケレバ

ナラス、サウスレバ恩給ヲ戴クコトガ出來ナイモノガ、多數此處ニ現ハレテ來ルノヂヤナイカト思フノデス、是等ノ細カイコトハ非常ニ、數字ニ當テ見ナケレバ分リマセヌケレドモ、私共ノ一體不滿トスル點ハ、モット陸海軍カラ詳細ニ互テ、數字上ニ於テ、モット深切ナル説明ヲ要求スルノデス、中ニ細カイ數字ニ當テ調べルコトハ私共ニハ不可能ナンデス、ソレデ長年此コトニ没頭サレテ居ル方ミカラ、詳シク自分達ノ今迄ノ狀況、サウシテ將來、精神上或ハ物質上ニ及ボス影響等ニ付テ仔細ニ承ハラナケレバナラスノデアリマス、何トナレバ今日ノ軍人ト云フモノハ、實ニ此國家ヲ背負フバカリデナク、東洋ノ平和ヲ維持スルト云フヤウナ大任務ヲ有ツテ居ルノデアツテ、ソレ等ノ人ガ精神上大打撃ガ及ブト云フヤウナ恩給法ノ改正デアリマスカラ、私共ハ等閑ニ附スル譯ニハ行カナイ、サウシテ承ハリタイノデアリマセヌケレドモ、海軍ノ方ニ於テ、一體恩給改正ノ爲ニ、ドレ程ノ利益ガアリ、ドレ程ノ犠牲ヲ拂ハナケレバナラスカ、ソレヲ大難把テ宜シイカラ承ハリタイノデアリマス

感謝ニ堪ヘナイノデゴザイマス、今回ノ恩給法改正ガ實施サレマス曉ニ於キマシテハ、海軍ノ下士官兵ノ待遇上、ドウ云フ不利ガアルカト云フ御尋デアリマシタガ、先般來色々御質疑ニ對シマシテ、御答ヘ致シマシタコトモゴザイマスガ、全般ニ互リマシテ、概略申上ゲマスと云フト、年限延長ニ於キマシテハ、現在、海軍ノ人事行政上ノ方針ニ基キマス、成績ニ依リマスルト云フト、兵トシテ勤務イタシマス期間ガ、平均五年半、ソレカラ下士官ニ任用サレマスルト云フト、下士官トシテノ義務服役年限ガ六箇年間、併セマシテ、十一箇年半ト云フコトニナツテ居リマス、現行法ノ恩給資格年限以上ニ達シテ、兵役ヲ退クコトニナツテ居リマシテ、其下士官ノ義務服役年限、六箇年ヲ終リマシテ、満期ノ時期ニナリマス時ニハ、特別ナ事故ノアリマスルモノ以外ハ、全部ノモノガ一等下士官トナリ、退役スルノデゴザイマス、茲ニ差上ゲマシテアリマス、表ニ二等下士官トシテアリマスルモノハ、病氣其他ノ事故ニ依ルモノデゴザイマス、大部分デゴザイマス、ソレカラ三等下士官トシテ毎年新受給者平均員數六百八十一ト云フ數ヲ掲ゲデアリマスルノハ、是ハ所謂名譽三等下士官デゴザイマシテ、三等下士

○説明員(多田武雄君) 只今海軍當局ヲ御

鞭撻下サイマス意味ノ御質疑ガアリマシテ、

官ニ有功進級イタシタ後ニ罷メタル者デハゴザイマセヌ、兵五年乃至長イモノハ八年位勤メルノモゴザイマスガ、其兵ノ服役ヲ終リマシテ、現役ヲ退キマスル際ニ三等下士官ニシテ者ガ此六百八十人、サウ云フ狀況デゴザイマシテ、此名譽三等下士官ノコトハマダ後デ申上ゲマスルガ、保留ノ下士官ノ服役ヲ終ヘテ現役ヲ退キマスルニ付テ考ヘマスルト云フト、今回ノ一年延長ガアリマシテモ、海軍ノ軍人ハ陸軍ニ比較イタシマシテ相當加算年ヲ附セラレル機會ガ多イノデゴザイマスカラ、現在ノ平均十一年半ニ對シマシテ僅ニ半年ノ……他ノ加算等ニ依リマシテ又再現役ト云フ制度モゴザイマスルカラシテ、人事行政上此點ハ不利益ヲ蒙ラナイモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ恩給……只今申シマシタノハ人事行政上不利益ヲ蒙ラナイト申シマシタガ、其一年延長ニ依リマシテ下士官ニ於キマシテハ七圓、兵ニ於キマシテハ六圓ノ一箇年分ノ恩給額ガ減額セラレルコトハ是ハ已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ年齡ニ依リマス一部停止ノ問題ハ前回二回マデモ御答イタシテ置キマシタガ、アノ程度ハ忍バナケレバйкаヌノデナйкаト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ二等下士官三等

下士官ノコトニ付テ更ニ申上ゲマスルガ、二等下士官ノ五十六人ト云フ數字ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、保留ノ下士官ノ六年ノ服役ヲ終ヘマシタ者ハホンノ數名位ト思ヒマス、其他ノ者ハ病氣ソレカラ家庭上ノ事故等ニ依リマシテ早目ニ現役ヲ退イタ者デゴザイマシテ、是等ノ恩給年限ニ達シマセヌ者ガ三十五「パーセント」モ恩給年限ニ達シマセヌデ出テ居ル者ガアリマスト云フコトハ、是ハ現行法ニ於キマシテモ其通りデアリマシテ、已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ三等下士官ノ恩給ヲ受ケマス者ガ僅ニ二十九「パーセント」ト云フ風ニ見エマスルケレドモ、只今申上ゲマシタヤウニ、三等下士官ト云フモノハ有功進級シマシテ現役ヲ退キマス下士官デアリマセヌノデ、兵ノ五年乃至八年ノ服役ヲ終ヘマシテ退職シマス所ノ、名譽進級シマシタ下士官デゴザイマス、大正十二年改正前ノ恩給法ノ適用ヲ受ケテ名譽三等下士官トシテ退職シマシタ者ニ付キマシテハ、約一番多イ時デ六十「パーセント」ハ普通恩給年限ニ達シテ居「タヤウナ時代」モゴザイマス、是ハ先程恩給局長カラ申サレマシタヤウニ、タッタ一日支那方面ニ警備ニ參「タバカリ」デ一年ノ加算ガ付ク、ト云フヤウナ極メテ有利ナ

ル加算制度ノ適用ヲ受ケタ時代ノコトデゴザイマシテ、此一日支那ハ警備ニ參リマシテモ一年ノ加算ガ付クト云フ程度ノ加算ハ、海軍トシテハ適當トハ考ヘテ居リマセヌノデゴザイマス、加算制度ト致シマシテハ現行法ヲ以テ大體適當ノモノト考ヘテ居リマス、此加算制度ニ改マリマシタ結果ト、ソレカラ昭和二年ノ法規改正等ニ伴ヒマシテ、士官兵ノ六年ノ服役ガ五年ニ改マリ一年ノ短縮サレマシタノモ影響シテ居リマス、ソレカラ此原則ノ問題デハゴザイマセヌガ、例ノ大正十二年九月ノ震災當時ノ震災加算一箇年、是ナドガ影響シテ居リマシテ、名譽三等下士官ノ約半數ト云フモノハ普通恩給ニ達シテ居「タヤウナ時代」モアルノデゴザイマスガ、イロ／＼制度ノ改正ヤ豫算ノ整理等ニ依リマシテ當然ノ結果ト致シマシテ、斯ウ云フ現象ニナ「タテ」來「テ」居ルノデアリマシテ、三等下士官トシテ出ルノニ而モ五年乃至八年モ長イ間海軍ニ御奉公ラシテ、サウシテ恩給モ貰ヘナクテ宜イノカト云フ御考モアラウカト存ジマスガ、全ク此三等下士官ニハ年金恩給ヲ受ケナイバカリデナク、一時恩給ヲモ支給サレナイノデゴザイマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマスト云フト、恩給法ニ於キマシテハ此下士官トシ

テ一年以上ヲ在職イタシマセヌケレバ恩給資格ガ發生シナイノデゴザイマス、是ハ申スマデモナイコトト思ヒマス、此三等下士官ト云フノハ所謂名譽三等下士官デ兵ノミノモノデゴザイマスルカラ、此兵ノミノ、實際過去ニ於テ在職シマシタ其期間ガ、全然兵ダケト云フヤウナモノニ對シマシテ、一時恩給ヲ給與シマスコトニナリマスト、徴兵全部ニモ及ボサネバйкаヌト云フ理窟ニナ「テ」參リマスルカラ、名譽三等下士官ノ待遇ヲ考ヘマスル爲ニハ恩給法ニ於キマシテ之ヲ救フヨリ外、寧ロ未現役手當ト云フヤウナ給與上ノ方面ニ於キマシテ救「テ」ヤルト云フコトヲ海軍トシテハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、現在ノ未現役手當……詰リ恩給ヲ貰ヒマセヌデ生活シマスモノニ對シテ、未現役手當ノ制度ガアル次第デゴザイマス、尙ホ御尋ネノ點ガゴザイマシタラ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○男爵井上清純君　モウ一ツ、聯合艦隊ノ手當ハ幾ラカ今度出來「タヤウ」デゴザイマスケレドモ、ドウ云フ具合ニナ「テ」居リマスカ、聯合艦隊ノ手當ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○説明員(多田武雄君)　現行法ノ第三十九條ニ於キマシテ、新ニ海軍ノ艦隊加算、所

謂艦隊加算、具體的ニ申シマスレバ現在ノ第一、第二艦隊、詰リ聯合艦隊ニ乗ッテ居リマス、勤務シテ居リマスモノニ對シマシテ、一月ニ付キ三分ノ一月ヲ加算セラレル制度ガ設ケラレマシタノデ、海軍ト致シマシテハ實質ニハ甚ダ貧弱ナ觀ガゴザイマスケレドモ、精神的ニ艦隊乗員ニ對スル優遇ノ方法ガ講ゼラレマシタコトニ付キマシテハ、非常ニ多年ノ要望ガ實現イタシマシタコトニ付キマシテ、感謝シテ居ル次第デアリマス、此一般減額ヲモ斷行シナケレバナラヌト云フ今回ノ恩給法改正ニ於キマシテ、新ニ此艦隊乗員ニ對シテ加算ヲスルト云フ制度ガ設ケラレマシタト云フコトハ、政府ニ於キマシテモ、艦隊乗員ノ勤務ノ内容又其訓練ノ重要性ニ鑑ミラレマシテ之ヲ認メラレタノデアリマシテ、尙ホ其訓練ノ内容等ニ付キマシテ御疑問デゴザイマシタナラバ、改メテ御答ヘ致スコトニ致シマス

○男爵井上清純君 今此聯合艦隊ノ手當モ考慮サレタト云フコトニ付テ感謝ヲサレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、是ハ私ハ當然ナ事柄デナイカ、感謝ニ價シナイモノデアラウト思フノデアリマス、何トナレバ遠洋航海ノ方ノ手當ガ半月デアッタ奴ヲ、今度

三分ノ一ニナッタヤウデアリマス、ソレニ對シテ聯合艦隊ノ方ノ手當ガ考慮サレタト云フノデアリマスガ、一體聯合艦隊ノ訓練ノ方法ガ近時非常ニ變タヤウニ思フノデアリマス、ソレハ華盛頓會議、倫敦會議ニ依ッテ兵力量ニ變化ガ及ンデ來タガ爲ニ内容ヲ充實スル必要ニ迫ラレテ夜、晝モ非常ニ猛烈ナル訓練ヲシナケレバナラヌト云フコトニ置カレタカラデアリマシテ、恐ラクハ兵員ナドハ休ム暇モナク、夜汗ヲ拭ク或ハ入浴シテ洗フ暇スラモナク、ソレヲ入浴ヲ待テバ朝ニナッテシマウト云フノデ入浴スルコトモ出來ズ、汗ヲカキタ儘「ハンモック」ノ中ニ潛リ込マナケレバナラヌト思フノデアリマス、而モ艦内ハ百何十度ニ上ッテ居ルノデアッテ、非常ナ暑イ所、而モ目ノ前ニハ電燈ガ光ッテ居ル、又脇ニハ「ダイナモ」アタリガ廻ッテ居ッテ、非常ナ騒々シイ、息苦シイ所ニ寢ナケレバナラヌ、サウ云フ所デ以テ心身ヲ休メルコトガ出來ナイヤウナ訓練ヲ晝夜續ケテヤッテ居ルノデゴザイマスカラ、國家トシテハ當然之ニ相當ナ考慮ヲ拂フト云フコトガ將來アルノデアリマシガ、今日マデ何事モナカッタト云フコトガ不思議デアルノデアリマス、而モ此聯合艦隊ハ殆ンド大部分ノ海軍ノ現役將兵ガ從事シ

テ居ルノデアリマシテ、非常ニ是ハ今日ニ於テハ重要ナル任務ヲ有ッテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、我ミガ安心シテ今日枕ヲ高クシテ寢ルコトガ出來ルノハ、是等ノ人達ノ訓練ノ賜デアルト思フノデアリマス、其人達ノ受ケテ居ル所ノ手當ガ甚ダ低イノデアリマス、ソレヲ僅カバカリノサウ云フ手當ヲ薄クシテ、サウシテ今國家ガ財政的ニ困ッテ居ルカラト云フコトデ我慢シナケレバナラヌト云フコトハオカシイコトデアリマス、二十二億カラノ豫算ヲ組ンデ居ルノデアリマシテ、當然此官吏ニ對シテ、軍人ニ對シテ國家ハ報ユル所ガアルノハ至當ナノデアリマス、恩給亡國ナント云フコトヲ唱ヘル其事ガ、政黨員アタリガ官途ニ就イテ唱ヘ初メタコトデアリマシテ、決シテ是ハ我ミハ是認スルコトハ出來ナイノデアリマス、軍人ナドハサウ云フコトニ依ッテ犠牲ニ甘ンジテ受ケル必要ハナイト思フノデアリマス、請求スベキコトハ十分ニ御請求ニナラヌケレバ、言フコトガ出來ナイ無口ノ軍人、現役軍人ニ對シテ、誠ニ相濟マヌコトデアルト思フノデアリマス、此事ニ付テ更ニ當局カラドレダケノ手當ガ出ルカ承ハリタイノデアリマス

○政府委員(總員詮三君) 只今御尊ネノ手當ト申シマスノハ加算ノコトデゴザイマセウカ

○男爵井上清純君 左様デゴザイマス

○政府委員(總員詮三君) 艦隊加算ト致シマシテ、大體ハ其給料ノ一箇月ニ對シマシテ三分ノ一ヲ加算スルコトニ致シテ居リマス、航海加算ヲ附ケマシタノハ是ハ非常ニ古イ沿革ガアリマスノデスガ、明治ノ極ク初メ、明治八年ト記憶シテ居リマスガ、當時艦ガ非常ニ小サクテ航海ト云フコトハ非常ナル危險ト非常ナル苦痛ト……今日ナド到底想像ノ出來ナイヤウナ苦痛及ビ危險ヲ以テ航海イタシマシタ當時、サウ云フコトヲ理由ニサレテ此加算ガ出來上ッタ譯デアリマスコトハ、閣下モ無論御承知ノコトデアリマス、私ハ御説ノ通りト思ッテ居リマシガ、サウ云フ沿革デ此航海加算ガ出來マシテ、其後段々ニ艦モ發達シ、速力ナドニシテモ、又其堅牢サニ至リマシテモ、危險及ビ其日其日ノ日常生活ノ程度ニ於テモ、全ク隔世ノ感ガアリ、進歩發達イタシマシタ後ニ於テ、同ジヤウナ加算ガアルト云フコトハ不當デアルト云フコトデ、實ハ大正十二年ノ時ニ於キマシテハ、遠洋航海加算ハ全部止メベキモノデアルト云フコトガ海軍部内カ

ヲ殆ド異口同音ニ、政府部内デモ出タノデアリマス、海軍ノ方ノ御主張モ決シテサウ云フモノデナイト云フヤウナ色モ實情ノ御説明ガアテ、結局外ノ一般加算ガ附ケタリデアルト同ジヤウニ、是モ附ケタリニナタト云フコトデアリマス、其ダシイ不當ナコトモナイヤウニ、實際サウ云フ事務ニ從事シタ月ガアルナラバ、ソレニ對シテ相當ノ加算ヲスル、昔ノヤウナ事情ハナイケレドモ、是ハ此儘殘シテ行クト云フコトデ参リマシタヤウナ譯デ、サウ云フ事情モ、基礎事情ノ變化モアリマシタカラ、是位ノ減ハ無論忍バナケレバナラヌ事柄デアルト考ヘテ居リマス、又艦隊加算ヲ爲スノト航海加算ヲ減ジマスノト、ソレヲ差引キマスルト、餘程是ハ加算ガ殖エルコトニナリマス、尤モ加算ノ適用ヲ受ケマス所ノ主體デアリマス各軍人ハ違ヒ得ルダウト思フノデアリマス、航海加算ヲシナイ所ノ艦隊ニ配屬セラレテ、猛訓練ヲ受ケルモノニ付テハ加算ヲ増ス、而シテ航海殊ニ今日、大キナ軍艦デ航海スルト云フヤウナ人ニ付キマシテ、加算ハ減ラサレルコトニナリマスカラ、非常ニ加算ノ點ニ付テハ、海軍方面ニ於ケル士氣ト云フコトニ關シマシテモ、今度ノ改正ノ方ガズト宜イト云フコトヲ實ハ考

ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○説明員(多田武雄君) 只今井上閣下カラノ御質問ノ趣意ニ於キマシテハ、遠洋航海加算、現行法一月ニ付キ半月ヲ三分ノ一月ニ減少シテモ、ソレデ海軍デハ宜シイカト云フ御尋デゴザイマシタガ、現行法第三十九條ノ遠洋航海加算ト申シマスノハ、其適用ヲ受ケマスモノハ成程海軍ガ最も多イノデゴザイマスガ、其加算ノ性質カラ申シマスルト云フト、海軍ノ任務トハ別個ノ性質ノモノデアリマス、海軍以外ノ公務員デモソレガ遠洋航海加算ヲ附セラレルノデアリマス、海軍ノ任務ト離レテ、單ニ國ト離レテ遠ク海洋航海ヲスルト云フコトニ對シテノ加算デアリマシテ、不健康地加算トカ、邊陲地加算ト云、タヤウナモノガ一般的性質ヲ帶ビタ加算デゴザイマス、ソレデ今回一般的減額ヲモ見ナケレバナラヌ、又一方加算ノ整理モシナケレバイカヌト云フコトト照合ハセテ考ヘマシテ、相當海軍ニ影響ハゴザイマスケレドモ、改正法ノ根本方針カラ考ヘマシテ已ムヲ得ナカッタ次第デアリマス
○男爵井上清純君 教育職員ニ對スル所ノ恩給デアリマスルガ、是ハ小學校ノ教員、ソレ等ノ人ノ矢張り身上ニ關係スル重大ナ

ル事柄デアルト思ヒマス、御承知ノ通り、今日ハ非常ニ教員ノ思想ガ動搖シテ居ルノデアリマシテ、此教員ノ思想ノ如何ハ國民教育ニ重大ナル關係ガアリマスノデゴザイマシテ、餘程是ハ考慮シナケレバナラヌ問題デナイカト私共ハ思ヒマス、當局ハドノ位此教育職員ニ今度ノ改正ガ影響スルノデアルカ、或ハ斯ウ云フ點ハイケナイケレドモ、斯ウ云フヤウナ事柄ガ今度ノ改正ニ明記シテアルカラ満足スルデアラウ、ドウ云フヤウナ御見込デアアルカ、其邊ノ所ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(樋貝詮三君) 教育職員ニ付キマシテ、今回ノ恩給法改正デ不利益ヲ蒙ルト云フコトノ考ヘラレマスモノハ、主トシテ基準俸給ノ變更デアリマス、是ハ制度ノ上ニ於テ教育職員ニ不利益ヲ蒙ラセルト云フ譯デアリマセヌケレドモ、實際ノ結果ニ於テ教育職員ニ不利益ノ結果ガ生ズルコトガ、外ノモノニモアリマスルケレドモガ、教育職員ニ一番多イダラウト思ハレマス、是ハ從來教育職員ニ付キマシテ、實ハ甚ダ不當ナコトト考ヘラレル譯デアリマスガ、辭メル時ノ俸給、名前ダケノモノ、實際ノ俸給デナイ名前ダケノ俸給デ恩給額ガ算出出來ルト云フ現在ノ法ノ立前デアッタ爲メ

ニ、辭メル時ニ一級、二級ハ固ヨリ、統計ニ依リマシテモ五級位ソレヲ進メルノガ非常ニ澤山アルノデアリマス、五級進メマスト、一級一割五分ノ昇給ト致シマシテモ七割五分昇給スル、從テ法ガ豫想シテ居ル所ノ恩給ノ七割五分位多クノ恩給ヲ給與スルト云フコトニナリマシテ、現在ノ俸給其他現在ノ收入ト云フモノヲ、其者ノ經濟的ノ地位ト云フモノヲ標準ニ致シマシテ、ソレノ何割ト云フコトヲ考ヘテ來テ居ル恩給金ガ、其割合ヲ全ク保タヌト云フコトニナリマス、一種ノ脫法行爲ト言テモ宜イカト思ヒマス、法ガサウ云フ風ニナテ居ル爲メニ實際問題ト致シマシテ、非常ニ、サウ云フ風ニ幾階級モ飛バシテ、サウシテ昇給スルト云フコトニナテ、而シテ昇給シタト云フガ、實際上ノ俸給ハ事實上支給ハ殆ンド致シマセヌデ、唯恩給ダケニ押シ附ケル、是ハ多クハ俸給ハ地方費デ出ス、而シテ恩給ハ國費デ出ス分ガアリマシテ、中等教員ナドハ全部ソレデアリマスガ、又小學校教員ニ致シマシテモ、俸給ハ市町村ガ負擔シ、恩給ハ府縣ガ負擔シテ居リマス、經濟主體ガ違フノデ、現在給與ト致シマシテ俸給ガ負擔スベキモノヲ負擔ラセズシテ、其分迄モ將來ニ約束シテ、他ノ負擔主體デ

アル府縣又ハ國家ニ負擔サセル、從テ現ニ支出スルノデアリマセヌカラ、地方議會又ハ國家ノ此帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトナシニ……俸給豫算デアリマスルナラバ、サウ云フ議會ノ協賛ヲ經、從テ其議ヲ經マシテ當、不當ガ決定サレマスケレドモ、サウ云フ機會ナシニ一片ノ辭令ニ依リマシテ之ヲ恩給豫算ニ負擔ハセル、如何様ナル不當ノ負擔ハセ方デモ、是ハハラウト思ヘバ實ハヤレル位デアテ、監督ノ仕樣ガナイノデアリマス、サウ云フコトガ利用セラレテ、學校教員ニ於テ殊ニ其弊ガ著シノデアリマス、今回ノ改正ニ依リマシテサウ云フ不當ナ點ガ押ヘラレル結果トシテ、從來ヤテ居リマス、サウ云フ中儘ナコトガ出來ナイト云フ結果ニナリマスルノデ、全然出來ナイコトデハアリマセヌガ、此法案ノ認メテ居ル適當ナ程度ニシカ出來ナイト云フ結果ニナリマス、謂ハム不當ニ利益ヲ得ラレタ所ノ者ガ、サウ云フコトガ出來ナイト云フ意味ニ於テ不利益ヲ蒙ルコトニナル、其結果ガ學校教員ニ一番多イダラウト思ヒマスガ、ソレハ受給者ノ罪デハナイカモ知レマセヌガ、マアサウ云フ風ナ結果ニナリマス、ソレカラ此法案デ特ニ利益ニナリマスル方面ハ恩給法第九十條ノ廢止ニ依リマシテ、學校

職員ノ在職年數ガ、他ノ公務員ト自由ニ通算セラレルコトニナリマシテ、是ハ人物ノ融通ト云フ方面カラ參リマシタノデ、他ノ方面カラ新知識ヲ得ル、又他ノ方面ニ轉ズルト云フコトガ比較的自由ニナリマスルシ、又個々ノ教職員ニ移シマシテモサウ云フ風ナ便宜ガアリマスル爲メニ、教職員ノ頭ガ硬化スルト云フコトガナクナルデアリマセウシ、非常ニ此點ガ利益ニナルト考ヘテ居リマス、尙ホ一言附加ヘサセテ戴キタイノデアリマスガ、是ガ教職員ノ方ノ思想ニ影響ヲ及ボスヤウナコトガアテハイケナイト云フ御言葉デアリマスガ、固ヨリ其點モ御説ノ通りダト考ヘテ居リマスルガ、唯恩給當局ガ今迄ノ經驗ニ依リマスルト、在職ハ恩給ヲ稼グ爲メニナスト云フヤウナ者ガ随分アリマシテ、又在職サセルコトハ恩給ヲ得サセタイ爲メニ在職サス、言換ヘレバ公務員ノ地位ハ恩給ヲ稼グ所ノ職場デアルカ、稼グ場デアルガ如キ觀ヲ呈スル場合ガ屢、アリマシテ、是ハ甚ダドウモ心外ニ堪ヘヌ、恩給ヲ貰フ爲メニ教育ニ從事シ、恩給ヲ貰フ爲メニ或ハ軍人トナリ官吏トナル、サウ云フ思想ソレ自身ガ非常ニ私ハ官界ナンカノ方面ニ影響ヲ及ボスモノデアル、サウ云フヤウナ考ヘ方デ公務或ハ教育ニ從事セ

ラレルト云フコトハ以テノ外ダト、實ハ考ヘテ居リマスノデ、本人トシテハ恩給ト云フヤウナモノヲ目的ニ勤務スルノデナシニ、誠心誠意國家ナリ或ハ地方ナリニ勤メマシテ、又國家ヤ地方團體ハ之ニ對シテ向フカラ要求セラレヌニモ拘ラズ、絶エズ之ニ付テハ將來ノコトモ考ヘテ行クト云フ風ニ行キタイト云フ積リデ居リマス、所謂恩給稼グト云フヤウナ傾向アルモノニ對シテハ、恩給當局ト致シマシテモ……寧ロ其味方ニナル傾向ヲ持ッテ居リマス恩給當局カラ見マシテモ、苦々シイモノガアリマスノデ、從テ合理的ナ改正デアリマス以上ハ、眞面目ナ教職員ナドニ對シテモ、決シテ思想ノ動搖ノ根據ナドヲ與ヘルモノデナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、其點ハ是非御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵淺田良逸君 極メテ簡單ニ先程ノ追加ヲ御願シタイ、表ヲ御願スルニ付テ……ソレハ第三番目ノ問題ニ付テ第一款症、第二款症ヲ七項症、八項症ニシタ場合ニ於テ、何カ是ハ御規則デアリマセウガ、八割掛ト云フコトデアリマシタ、ソレガ爲メ増ス金ガ七十六萬六千圓ト承リマシタガ、必ズシモソレハ八割掛デナクテモ宜イデアラウカ如何カ、若シ八割デナケレバナラヌトシナイデ、假リニ七割デモ六割デモ宜イトシテ、七割トセバ如何ニナルカ、六割トセバ如何ニナルカ、之ヲ附加ヘテ一ツ表ノ中ニ、ソレダケヲ追加シテ下サルコトヲ希望イタシマス

○塚本清治君 此委員會ノ初メノ頃ニ東園子爵カラ御請求ガアツタカト記憶イタシマスガ、大藏當局カラ、恩給法ノ改正ニ依ッテ將來財政ノ上ニ及ボス影響、殊ニ其恩給支給總額年々累増ノ傾向ヲ阻止シ得ルト云フ見込ヲ、計數的ニ説明シテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、最早他ニ御質問モナケレバ私ハ大藏當局ノ説明ヲ求メタイト思ヒマス

○政府委員(横貝詮三君) 此點ハ大藏當局ダケデハ實ハ分リマセヌノデゴザイマス、ト申シマスノハ、其計數ヤナドハ恩給局ノ方カラヤラナケレバ支給狀態ナドガ分リマセヌノデアリマシテ、大藏當局デ分ル部分モアリ、恩給當局デナケレバ分ラヌ部分モアリマスルシ、又恩給當局ダケデ分ラヌ部分モアリマシテ、サウ云フヤウナモノハ、差上ゲマシタ財政ニ及ボス影響ト云フヤウナモノノ數字ノ結果ガ出デ參リマスニ付テハ、大藏當局ノ方ニ照會イタシマシテ、サウシテ調べテ貰ッテ、其數ニ基イテソレヲ

致シマシタヤウナ譯デ、大藏當局が出テ參

リマシテモ、大藏當局ダケデはハ分ラヌダ

ラウト思フテ居リマスガ、大藏當局ガ分ル

部分モアリ、分ラヌ部分モアリ、分ラヌ

部分ノ方ガ非常ニ多イドラウト存ジテ居リ

マス

○塚本清治君 大藏當局ガ分ラナイト恩給

局長ガ言ハレレバ、サウデアラウカトモ思

ヒマスケレドモ、近時恩給總額ノ異増スル

コトヲ、大藏當局ニ於テモ亦、若クハ大藏

當局ニ於テコソ、非常ニ憂慮シテ居ルノデ

アラウト思フ、又憂慮サレナケレバナラナ

イト思フノデス、サウシテ見レバ大藏當局

ガ恩給局ノ説明ニ依テカ若クハ自ラ解スル

コトニ依テカ、其恩給ノ將來ト云フモノニ

付テ、財政ノ見地カラシテ一應ノ見解ガナ

クチャナラナイ、其見解ヲ聽クコトモ我ミ

本案ヲ審査スルニ當ッテ頗ル意義アリ、重

要デアルト思フ、此意味ニ於テ私ハ大藏當

局ガ分ラナイト言ヘバ、又分ラナイデ已ヲ

得ナイトスルカモ知レマセスケレドモ、兎

モ角モ一應大藏當局ノ出席ヲ求メテ、説明

ヲ煩スコトヲ私ハ要求イタシテ置キマス

○子爵東園基光君 只今ノ塚本君ノ御希望

ニ對シテ賛成イタシマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ請求

イタシマス

○子爵大河内輝耕君 チョット是ハ速記ヲ

止メテ下サイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メ

テ……

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ速記

始メテ……

○織田萬君 字句ノ末ニ互フタ質問ヲスル

ト云フコトハ如何ニモ瑣末ナ事柄ノヤウデ

ゴザイマスケレドモ、申ス迄モナク、成文

法ハ文字其モノガ法律デアリマシテ、所謂

金科玉條デナケレバナラヌノデス、一字一

句モ忽セニシテハナラヌノデアル、其處ニ法

律ノ權威モアル譯デアリマス、明治時代ノ法

制ガ憲法ヲ首メトシテ、燦爛タル形態ヲ備ヘ

テ居ルト云フコトハ、當時井上毅ト云フ方

ガ法制局長官トシテ長ク其職ニ居ラレテ、

專ラ立法事業ニ盡力セラレタ結果デアリマ

ス、又司法省ニハ法律取調局、ソレニ次グ

法典調査會ナドデ、如何ニ法文ノ洗練ニ努

メタカト云フコトハ、今日ノ若イ人ニハ或

ハ全ク知ラナイ者モ多カラウト思ヒマスケ

レドモ、其當時ノコトヲ考ヘテ見マスト、

實ニ先輩ノ苦心ハ多カッタヤウデアリマス、

ソレデ他ノ法案ハドウカ知リマセスケレド

モ、私不肖ナガラ特別委員トシテ此恩給法改

正法案ノ審議ニ加ハリマシテ、此法案ヲ

一見シマシタ所ガ、如何ニモドウモ看過ス

ルコトガ出来ナイヤウナ文章字句ガアリマ

シタノデ、茲ニ先ヅ著シイモノヲ五六箇所

發見イタシマシタカラ、ソレニ付テ當局ノ

御考ヲ承リタイト思ヒマス、先ヅ第九條デ

アリマスガ、「同條ニ左ノ一項ヲ加フ」トア

リマシテ、「在職中ノ職務ニ關スル犯罪(過

失ヲ除ク)ニ因リ禁錮以上ノ刑(陸軍刑法又

ハ海軍刑法ニ依ル一年未滿ノ刑ヲ含マス)

ニ處セラレタルトキハ其ノ權利消滅ス」ト

アリマスガ、是ハ現行法ト對照シテ御覽ニナ

ラナケレバイカスト思ヒマスガ、「處セラ

レタルトキハ其ノ權利消滅ス」ト云フ「其ノ

權利」ハ何ヲ指スカ、餘リ突兀デアリマス、

第一項ニ「年金タル恩給ヲ受クルノ權利ヲ

有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其

ノ權利消滅ス」トアリマシテ「其ノ權利」ト

ハ是ト同ジ意味デアリマスガ、第一項ハ上

ニ「サブゼクト」ガアリマシテ、「其ノ權利」

ト云フノガ分リマスガ、第二項ニ「其ノ權利」

ト云フノハ、ドウシテモ文章トシテハ許シ

難イコトデアアル、又「處セラレタルトキ」ト

アルノモ宜シクタイト思フ、要スルニ權利

消滅ノ他ノ場合ヲ第二項ハ見テ居ルノデア

ルカラ、若シ私ニ修正ヲ許サルナラバ、

「處セラレタルトキ亦前項ノ權利消滅ス」、

斯ウアリタイモノト思ヒマスガ、當局ハ如

何ニ御考ヘニナリマスカ

○政府委員(黑崎定三君) 其點ハ仰セラレ

テ見マスト、洵ニ其點ガ餘リ明瞭デナイカ

モ知レマセヌガ、是ハチョット速記ガアリ

マスト、餘リ詳シイコトハ申上ゲラヌカ

ト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メ

テ……

午前十一時三十九分速記中止

午後零時九分速記開始

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ……ソ

レヂヤ今日ハ此程度ニ致シマシテ、明日、

月曜日ノ午前十時カラ開會イタシマス、サ

ウシテ直ニ懇談會ヲ致シタイト思フテ居リ

マス、サウ御承知願ヒタイト思ヒマス、御

質問ガゴザイマシタラ其後ニ願ヒマス

午後零時十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君

副委員長 男爵井上 清純君

委員

公爵一條 實孝君

子爵大河内輝耕君

子爵伊東二郎丸君

子爵東園基光君

佐藤三吉君

眞野文二君

織田萬君

塚本清治君

男爵淺田良逸君

男爵渡邊修二君

今井五介君

政府委員

法制局長官 黑崎定三君

内閣恩給局長 樋貝詮三君

説明員

陸軍歩兵大佐 中井良太郎君

海軍中佐 多田武雄君